

# 都市再生整備計画 事後評価シート

栗津温泉地区(Ⅱ期)

令和3年2月

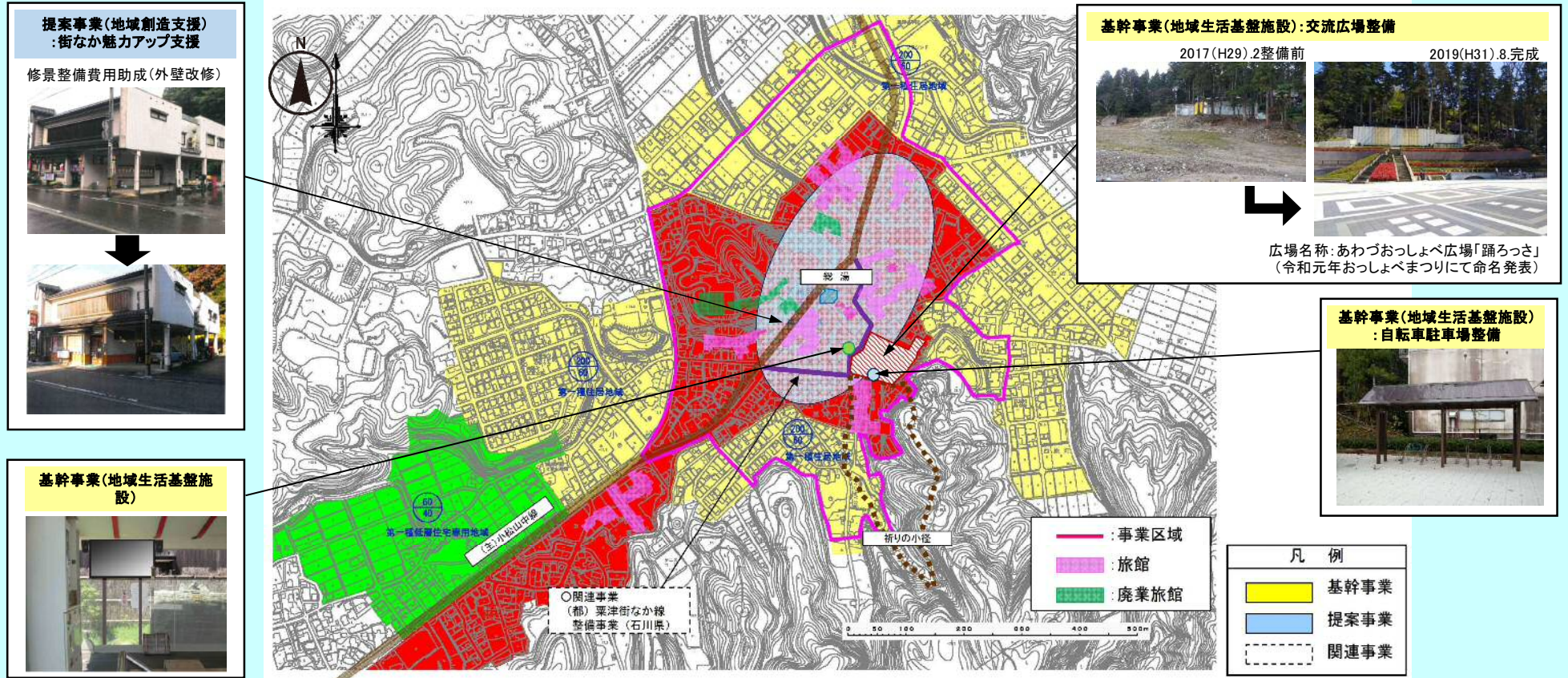
石川県小松市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	小松市		地区名	粟津温泉地区(Ⅱ期)			面積	32ha	
交付期間	平成29年度～平成31年度		事後評価実施時期	平成31年度		交付対象事業費	483百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	交流広場整備、自転車駐車場整備、情報板整備								
			提案事業	街なか魅力アップ支援、事業活用調査								
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	-								
			提案事業	空き家・空き店舗活用支援			改修費用助成として事業予定者と調整を進めたが、いずれも不調となり事業実施見込みが無くなったため。			地元独自で改修等を実施した箇所があり、本事業の実施により期待する「まちなかの通り沿いの賑わいを創出し、回遊性を高める」効果に寄与していると考えられることから、本事業の削除による指標への影響は生じない。		
	新たに追加した事業		基幹事業	-								
提案事業			-									
交付期間の変更		当初	平成29年度～平成31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
		変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	粟津温泉観光客数	人/年	298,166	H27	301,000	H31	238,896	△	あり	温泉旅館の事業停止(2軒)等の影響により、目標達成には至らなかったが、現在営業している旅館の入込推移の減少幅は抑えられており、日帰り利用者、周辺観光入込は増加傾向にあった。交流広場等の整備による観光客等の受け入れ体制が充実したことによって観光入込客数の維持、回復につながったと考えられることから、△(一部達成)と評価した。	-
									なし	●		
指標2	総湯外来入込客数	人/年	50,346	H27	52,600	H31	47,879	△	あり	数値全体は目標を下回ったが、外部からの入込は増加傾向にあった。交流広場の活用による交流イベントで温泉街としての賑わいが創出され、宿泊客以外の来訪者が増加し、総湯外来入込客数の増加につながったと考えられることから、△(一部達成)と評価した。	-	
								なし	●			
指標3	まち歩き者数	人/10h	913	H28	970	H31	1,141	○	あり	交流イベントをサポートする広場の活用と修景整備の一体的な推進による効果的な温泉街の魅力向上及び環境改善が温泉街を歩く人々の増加につながり、目標達成に至った。	-	
								なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<p>・広場完成に先立ち2019.5.19に里山体験ワークショップイベント“あわあわ”を開催。(主催:HUNDRED WORKS AWAZU(地域おこし協力隊主体)、共催:小松里山協議会、後援:小松市)広場の具体的な活用の手本となり、町民のまちづくりや地域コミュニティに対する意識向上につながった。</p> <p>・2019.10.27～11.10に日本遺産、小松の石文化を紹介するイベントの一環として「石川の石を彫ろう会」による石の彫刻展を開催。小松の石文化にこだわった広場修景・空間に相応しいイベントとなった。</p>											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加プロセス	交流広場の整備や活用方法、粟津温泉の街並み景観形成や賑わい形成などの整備計画の策定に向けての協議会を発足し、協議、事業の円滑化を図った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 交流広場を粟津温泉及び粟津温泉周辺の活性化のための用に供されることを目的に市と粟津町内会・粟津温泉旅館協同組合・粟津温泉観光協会で構成される団体と広場の管理・運営についての協定書を取り交わした。			
持続的なまちづくり体制の構築	粟津町内会等による管理・運営団体が主体となり、イベント誘致等、広場活用の促進を図っている。			● 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も交流広場の運営・管理を行うとともに、当地区の賑わい形成、地域活性化につながるイベントの企画・誘致に取り組む。				

## 様式2-2 地区の概要

粟津温泉地区(Ⅱ期)(石川県小松市) 都市再生整備事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標】開湯1300年の歴史を誇る温泉情緒「山かげの御殿湯」の創出 目標1:温泉と歴史・寺社をつなぐにぎわいの創出。 目標2:交流イベントをサポートする広場の活用。 目標3:温泉街の景観の演出と足湯と連携させた回遊拠点づくり。		粟津温泉観光客数	単位:人/年	298,166人	H27	301,000人	H31	238,896人	H31
		総湯外来入込客数	単位:人/年	50,346人	H27	52,600人	H31	47,879	H31
		まち歩き者数	単位:人/10h	913人	H28	970人	H31	1,141人	H31



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粟津の顔づくりと賑わい再生については、年間観光入込客数の増加が未解決の課題として残った。</li> <li>・魅力ある温泉街としての景観づくりについては、引き続き空家・空き店舗の対策が必要である。</li> <li>・安全、安心、快適な温泉街の環境づくりについては、宿泊客以外の駐車場確保が課題である。</li> <li>・本事業により発生した新たな共通の課題は、交流広場のイベント時以外の利用促進が挙げられる。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント・活動の継続及び創出⇒今後も交流広場が地域の核となって地域交流・文化交流が活発化しにぎわいが持続するようイベントの継続・創出に努める(イベント支援)</li> <li>・回遊ルートの賑わい創出(各拠点の再生)⇒情報案内板に示された各拠点を再生し、観て通り過ぎるだけのルートではなく、各拠点に立ち寄り、体験する仕掛けやプログラムの充実を図り回遊ルートの更なる魅力向上を目指す。(地域資源を活かした物語のある回遊ルートづくり、観光資源を体験するプログラムの発掘・実施、各拠点の整備)</li> <li>・年間を通しての集客力向上⇒観光周遊バスの利用向上について検討し観光客の誘客に努める。また、国内観光客の減、団体旅行客の減に対する対応として、訪日客の獲得対応を強化する。(総合的な公共交通体系の検討、インバウンド需要拡大事業)</li> <li>・空き家・空き店舗対策⇒空き家・空き店舗活用支援及び当地区の魅力について発信し、事業者の誘致を積極的に行う。(空き家・空き店舗活用支援)</li> <li>・駐車場の確保⇒日帰り観光客や広場利用促進のため、駐車場を確保する。また、駐車場不足を補完する交通体系について検討する。(駐車場対策事業(整備、提携、シェア等)の方策検討)、総合的な公共交通体系の検討(再掲)</li> <li>・交流広場のイベント時以外の利用促進⇒イベント時以外の活用方法について検討する。(社会実験の実施、地域利用等の活用促進(利用制限の緩和等)、防災訓練事業等)</li> </ul>